

大武進

【展示期間】

10月1日
土曜日

12月4日
日曜日

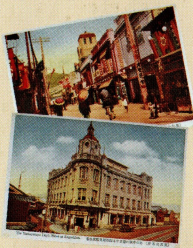
新聞でたどる近代史

黒船来航からアポロまで



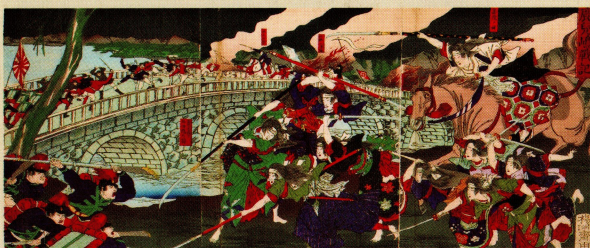
歴史的な事件が掲載された新聞の数々

新聞に加え当時の
の広告チラシ、絵
はがき、冊子、西
南戦争を題材にし
た錦絵などの展示

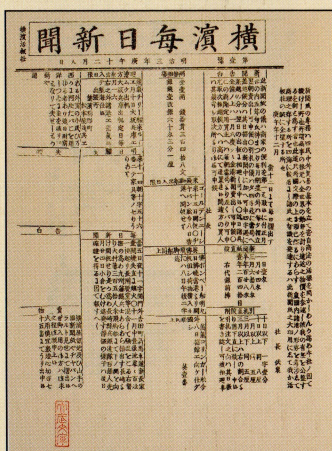


絵はがきや錦絵等 貴重な資料を 多数展示

も行われる。これ
により当時の人々
の暮らしぶりなど
を詳しく知ること
ができるだろう。



近代日本の新聞の
起源は、江戸時代に
発行された「かわら



日本最初の新聞「横浜毎日新聞」
平凡社太陽コレクション「かわら版新聞」から明治三百年事件31特別付録から
東京大学明治新聞雑誌文庫蔵

版」といわれる。明
治に入り、日刊新聞
の第1号である「横

濱毎日新聞」が発刊
されると、その後
相次いで各地に新聞
が誕生し世相を映す
鏡となった。今回の
企画展では、大武進
氏のコレクションの
中から、新聞の黎明
期の様相、南日本新
聞の前身である鹿児
島新聞の発刊と普及、
鹿児島新聞の変遷
をたどる。幕末から
今世紀初頭までの
数々の歴史的な事件を
追うことで、新聞の
果たしてきた役割や
意義を考えてみたい。

新聞で歴史を読む

幕末から現代までを振り返る

トピックス

江戸、薩摩を震撼させた黒船の来航
ケネディ大統領暗殺される
アポロ、月面に到着

第一部 4
第六部 17
第七部 17

【主催】

指宿まるごと博物館構想推進実行委員会・時遊館COCCOはしむれ
【資料提供】大武文庫 【後援】南日本新聞社・読売新聞西部本社・KTS鹿児島テレビ

展示資料リスト(大武文庫所蔵)

- 1 江戸、薩摩を震撼させた黒船の来航 諸国海岸御固御場所・異国船之図 嘉永7年
- 2 山川、頴娃、指宿など海岸の防備を固める 海陸御固御場所附 嘉永7年
- 3 駿河国富士山絵図 富士山別当表村山奥法寺□□蔵版 幕末
- 4 京都名所案内図並二三条大橋ヨリ道法 幕末
- 5 周防岩国錦帯橋眞景 幕末
- 6 諸夷渡来世評集録 安政6年8月7日
- 7 安政コレラの速報ニュース 諸宗寺院死人書上写 安政5年
- 8 新聞詞留 慶応元年11月
- 9 薩英戦争の砲台配置図と英艦隊の航跡 史蹟名勝天然記念物調査会 昭和7年3月
- 10 新聞書 明治3年8月
- 11 御勅書并西郷先生書状写 明治4年8月
- 12 征韓論政変「祝刺刷(げらずり)新聞」の写しの写し 明治6年
- 13 佐賀の乱戦況報告書 明治7年3月2日
- 14 横浜毎日新聞 第1号(複製)明治3年12月8日
(太陽コレクション「かわら版新聞 江戸・明治三百事件」特別付録)
- 15 内外新聞 第5号 慶応4年5月15日(明治元年)
- 16 外国事務日誌 創刊号 明治元年10月
- 17 明治6年癸酉頒曆 文部省天文局 明治5年
- 18 太陽層採用に伴う年令の通算法 太政官令第36号 明治6年2月5日
- 19 前原一誠の斬罪罰文 明治9年12月3日
- 20 鹿児島戦争記 篠田久次郎 明治10年 東京
- 21 鹿児島電信 金井□□□ 明治10年 大阪新町
- 22 鹿児島征討日記 西村兼文 明治10年 京都
- 23 鹿児島追討記 内藤善次郎 明治10年 東京
- 24 鹿児島軍記 大西庄之助 明治10年 東京
- 25 明治10年丁丑公論・瘦せ我慢の説 福沢諭吉著 明治34年4月
- 26 鹿児島戦記錦絵 鹿児島県下西田橋の図 楊州斎周延筆 明治10年
- 27 (錦絵)鹿児島新誌9号「池上四郎」 豊原国周筆 明治10年10月19日
- 28 (錦絵)西南戦争 少年隊の図 豊原国周筆 明治11年3月
- 29 西郷隆盛の決起を伝える布達 写し 鹿児島県布達第9号 明治10年2月12日
- 30 西郷軍の征討を命じる 詔勅 明治10年3月10日
- 31 川路利良大警視の顕彰碑文 写本 朝野新聞 第2683号
- 32 日刊新聞、鹿児島に誕生す 鹿児島新聞 第1号 明治15年2月10日
- 33 鹿児島に現存する最古の保存紙 鹿児島新聞 第10号 明治15年3月7日
- 34 東京・報知新聞に宛てた新聞配達停止通知控え 明治15年12月23日
- 35 故島津久光公爵齋場略図 鹿児島新聞 第4633号 付録 明治20年12月
- 36 島津久光逝去 鹿児島県公報 告諭第2号 号外 明治20年12月16日
- 37 西郷隆盛ら鹿児島英名肖像画 久松渡辺堂監誠人版画 明治20年10月7日
- 38 鹿児島同志会、新聞刊行で出資を募る 鹿児島新聞 第2046号 明治22年9月15日
- 39 日清の風雲、急を告げる 日清戦争へ 鹿児島新聞 第3568号 明治27年6月20日
- 40 新聞が戦意高揚の先頭に立つ 鹿児島新聞 第3572号 明治27年6月24日
- 41 公文電報 清国北洋艦隊が降伏 乙兵第38号 写し 明治28年2月14日
- 42 台湾を統治、日本の領有に 鹿児島毎日新聞 号外 明治28年10月23日
- 43 英照皇太后が崩御 喪に服し休刊 鹿児島毎日新聞 号外 明治30年1月13日
- 44 郷友会鹿児島部規則と授産会社規則 明治
- 45 同志会宣言書 明治22年
- 46 独立倶楽部趣意書 明治23年
- 47 鹿児島毎日新聞の発行趣意書 明治32年
- 48 貴重な美術品健在 十年の戦禍避ける 鹿児島新聞 第3550号 明治27年5月30日
- 49 西郷隆盛の愛犬は狆(?)略暦 明治43年
- 50 記事差止め命令に違反 鹿児島新聞 第3556号 明治27年6月6日
- 51 発行停止を伝える 鹿児島毎日新聞 はがき号外 明治28年5月2日
- 52 東京電報 宣戦 布告の詔勅 鹿児島新聞 第1号外 明治37年2月11日
- 53 東郷司令長官の報告 我二艦の沈没 鹿児島実業新聞 第1315号付録 明治37年5月20日
- 54 旅順口的大海戦 鹿児島新聞 第1号外 明治37年6月25日
- 55 旅順港外海戦の公報 鹿児島新聞 第3号外 明治37年7月3日
- 56 旅順攻撃始まる 鹿児島実業新聞 第1372号 明治37年7月16日
- 57 血判の従軍記者 鹿児島実業新聞 第1386号 明治37年7月30日
- 58 帝国万歳 橋本城占領再報 鹿児島実業新聞 第2号外 明治37年8月1日
- 59 旅順港外海戦公報 鹿児島実業新聞 第2号外 明治37年8月12日
- 60 今遼陽城占領の公報あり 鹿児島新聞 第1号外 明治37年9月4日
- 61 前代未聞「号数」入り号外 鹿児島実業新聞 (第1540号)号外 明治38年1月2日
- 62 「陥落」を予想 筆で日時を記入 鹿児島実業新聞 第□号外 明治38年1月2日
- 63 奉天府を占領 鹿児島新聞 第6856号付録 明治38年3月11日
- 64 第〇師団(郷土部隊?)が奮闘 鹿児島新聞 第1号外 明治38年9月3日
- 65 日本海海戦に大勝利 民間人による回文 明治38年5月29日
- 66 大会戦公報 敵艦殆ど全滅 大阪新報 号外(複製) 明治38年5月29日
- 67 日露戦争絵はがき 明治38年 7枚
- 68 家庭新聞を刊行 女権拡張のバイオニア 三州家庭新聞 第2号 明治9年10月3日
- 69 家庭婦人の美德、役割を称賛 鹿児島家庭新誌 第14号 明治40年6月5日
- 70 石版画 上野公園西郷南洲翁銅像 堤吉兵衛書画・発行 大正2年1月25日
- 71 桜島大爆発の絵はがき 9枚 大正3年
- 72 第一次世界大戦争 青島を占領 大阪毎日新聞 第2号外 大正3年9月27日
- 73 鹿児島新聞1万号記念福引き券 大正3年7月
- 74 山形屋デパートが新築落成、開館 鹿児島名所絵はがき(複写拡大)大正5年頃
- 75 鹿児島市の繁華街 天文館通りの賑わい 鹿児島名所絵はがき(複写拡大)大正
- 76 関東大震災の画報 大阪毎日新聞 号外 大正12年9月5日
- 77 関東大震災の火災被害区域地図
- 78 大正天皇崩御 新帝直ちに祚許 九州日日新聞 号外 大正15年12月25日
- 79 東郷元帥逝く 国葬の儀が内定 大阪毎日新聞 号外 昭和9年5月30日
- 80 満州国を承認 新皇帝に溥儀氏 鹿児島新聞 第16494号 昭和7年9月16日
- 81 五・一五事件 犬養首相暗殺 大阪朝日新聞 号外 昭和8年5月17日
- 82 五・一五事件判決全文 大阪朝日新聞 号外 昭和8年5月17日
- 83 満州国けふ正式に承認 鹿児島新聞 第16493号付録 昭和7年9月15日
- 84 愛国婦人 鹿児島県支部版 愛国婦人第26号付録 昭和9年2月15日
- 85 新聞はどうして出来るの 鹿児島新聞付録(学童新聞)昭和9年9月23日
- 86 二・二六事件 反乱將校に死刑判決 大阪毎日新聞 号外 昭和11年7月7日
- 87 軍事機密保持、伏せ字だらけ 鹿児島朝日新聞 号外 昭和12年9月17日
- 88 昭和11年鹿児島市防空演習貼り紙 昭和11年9月 鹿児島市防護団
- 89 日中戦争の勃発 鹿児島新聞 昭和12年9月11日
- 90 満州国の治外法権を撤廃 大阪朝日新聞 号外 昭和12年11月5日
- 91 日・独・伊・防共協定に調印 鹿児島新聞号外 昭和12年11月7日
- 92 広がる戦火、総力戦 鹿児島朝日新聞夕刊 第13102号 昭和12年9月18日
- 93 物資不足で売り惜しみ、買い溜め取締強化 鹿児島新聞 19090号 昭和14年12月16日
- 94 「南洲翁の首発見者」乃木軍の川田少尉 鹿児島朝日新聞 第14129号 昭和15年7月30日
- 95 指宿郡を皮切りに実践的な防空訓練 福岡日日新聞鹿児島版 昭和15年7月23日
- 96 国内体制を強化、米の対日圧力 鹿児島朝日新聞 第14287号 昭和16年1月9日
- 97 戦費調達へ無尽新聞が誕生 鹿児島無尽新聞 第277号 昭和18年8月8日
- 98 帝国遂に米英と戦闘状態に入り 大阪毎日新聞 第21079号 昭和16年12月9日8
- 99 初戦飾ったハワイ真珠湾攻撃 大阪毎日新聞 第21102号 昭和17年1月1日
- 100 新聞は一県一紙に 鹿児島日報 第2号 昭和17年3月10日
- 101 もの言わぬ戦士 軍馬の展覧会 鹿児島日報夕刊 第101号 昭和17年5月23日
- 102 豪州のシドニー湾に散った特攻隊員 鹿児島日報 昭和17年10月7日
- 103 敗戦色が色濃く現れ始めた紙面 鹿児島日報 第973号 昭和19年10月16日
- 104 終戦時、2ページ建て 四紙面を併記 鹿児島日報 第1224号 昭和20年6月24日
- 105 沖繩戦況 特攻隊、雷撃隊の活躍 鹿児島日報 第1226号 昭和20年6月26日
- 106 「敵主力に最後の攻撃」敗戦色濃厚に 鹿児島日報 第1227号 昭和20年6月27日
- 107 日本、ボツダム宣言を受諾 敗戦 読売報知 第24665号 昭和20年9月3日
- 108 南日本新聞 第1号 昭和21年2月11日
- 109 衣料品、切符制に 大阪毎日新聞 第21121号 昭和17年1月20日
- 110 「進んで戦争を放棄せよ」憲法改正の詔勅 南日本新聞 1479号 昭和21年3月7日
- 111 チラシ「夕刊鹿児島」 昭和24年
- 112 朝鮮戦争に中国が介入 国連、停戦を要求 南日本新聞 3173号 昭和25年11月6日
- 113 GHQ、A級戦犯の起訴状を発表 南日本新聞 第1532号 昭和21年4月30日
- 114 (空輸号外)ケネディ大統領 暗殺される 毎日新聞 空輸号外 昭和38年11月23日
- 115 中国、国連に加入 台湾は国連を脱退 香港紙 朝・夕刊 昭和46年10月26日
- 116 人類ついに月を歩く 読売新聞 第1747号 昭和44年7月22日
- 117 地球人、月に第一歩 南日本新聞 昭和44年7月21日
- 118 日中国交を樹立 戦争状態は終結 南日本新聞 昭和47年9月30日
- 119 昭和天皇崩御、新元号は「平成」 鹿児島新報 平成元年1月8日
- 120 湾岸ついに戦争突入 南日本新聞 号外 平成3年1月17日
- 121 9・11 ニューヨーク同時テロ The Times 平成13年9月12日
- 122 1世紀前の枕崎 漁船の出入りで賑わう 鹿児島毎日新聞 明治24年11月3日
- 123 片浦からクジラの肉入荷 一斤七、十銭 鹿児島新聞 明治26年3月11日
- 124 頴娃の前海に数千頭(?)のイルカ 鹿児島新聞 明治26年12月22日
- 125 専門医が相次いで開業 鹿児島新聞 第3519号 明治27年4月24日
- 126 目算外れたクジラの見せ物興行 鹿児島新聞 第3451号 明治27年4月17日
- 127 南薩でも、支民両党の争い 鹿児島新聞 第3552号 明治27年6月1日
- 128 汽船、指宿・頴娃に向け出航へ 鹿児島新聞 第3561号 明治27年6月12日
- 129 骨肥輸入の起源 元祖は知覧の仲寛兵衛 鹿児島新聞 明治26年3月12日
- 130 開聞岳にちなみ「薩摩富士煙草」 鹿児島新聞 第5373号 明治33年6月19日
- 131 指宿特産の「軍艦煙草」発売 鹿児島実業新聞 第609号 明治35年2月16日
- 132 鹿児島・山川・指宿航路開設の計画 鹿児島実業新聞 第609号 明治35年2月16日
- 133 今和泉の奇病「ひやくたんご」 鹿児島新聞 第1372号 明治39年11月28日
- 134 購読料の集金で指宿に伺います 鹿児島新聞 第7381号 明治39年11月30日
- 135 明治末、子馬の奇病「馬匹指宿病」が蔓延、鹿児島新聞 明治43年8月
- 136 畜産振興のため、指宿に畜産技手 鹿児島新聞 8493号 明治43年4月22日
- 137 山川港にカツオの新魚揚場完成 鹿児島朝日新聞 昭和12年5月29日
- 138 西郷隆盛一代図 國利画 明治
- 139 領収証の変遷 鹿児島新聞社・鹿児島実業新聞社 明治・昭和
- 140 新聞代金清算書 明治19年6月21日消
- 141 新聞借書 明治
- 142 鹿児島朝日新聞社新築記念封筒 鹿児島朝日新聞社 大正14年
- 143 鹿児島国産振興博覧会記念絵はがき 6枚 昭和6年4月1日
- 144 読売新聞 第259号 明治8年12月2日
- 145 東京曙新聞 第1478号 明治11年9月9日
- 146 朝野新聞 第1659号 明治12年3月25日
- 147 商業電報 第69号 明治19年11月29日
- 148 改進黨新聞 第1167号 明治20年2月2日
- 149 東京朝日新聞 第3023号付録 明治27年12月23日

- 150 蚕事月報 第3号 明治29年7月11日
- 151 萬朝報 第1749号 明治31年8月24日
- 152 婦女新聞 第206号 明治34年4月18日
- 153 九州新聞 第3207号 大正4年5月25日
- 154 日本実業新聞 第28号 明治36年6月25日
- 155 北支那毎日新聞 第421号 明治38年1月17日
- 156 法律新聞 第472号 明治41年1月10日
- 157 奥羽新報 第38号 明治42年6月17日
- 158 土陽新聞 第1381号 明治20年6月27日
- 159 THE KOBE CHRONICL 明治34年10月23日
- 160 九州日日新聞 第8942号 明治45年1月1日

- 161 北国新聞 第3342号 明治35年10月18日
- 162 森永マンナ広告 鹿児島朝日新聞 昭和14年9月23日
- 163 ミツ石鯨広告 鹿児島新聞 昭和7年9月14日
- 164 雑誌富士広告 鹿児島新聞 昭和7年9月14日
- 165 仁丹 映画広告 鹿児島朝日新聞 昭和16年1月8日
- 166 護身用安全ピストル広告 鹿児島新聞 明治27年1月14日
- 167 山形屋広告 夕刊鹿児島 昭和25年11月7日
- 168 禁酒広告 鹿児島新聞 明治27年4月18日
- 169 鹿児島専売支局求人広告 大正5年12月
- 170 わかもと広告 鹿児島新聞 昭和12年6月18日
- 171 ラジオ・テレビ欄 鹿児島毎日新聞 昭和34年5月11日

郷土の主なマスメディア論文

『鹿児島県新聞史』 吉田勇蔵 地方別日本新聞史 1956年7月	『郷土新聞78年の歩ゆみ』 芳即正 三州談義13号 1959年3月	『南国新聞太平記(上)』 三州談義編集部 三州談義13号 1959年3月	『南国新聞太平記(中)』 三州談義編集部 三州談義14号 1959年4月
『南国新聞太平記(下)』 三州談義編集部 三州談義15号 1959年6月	『南日本新聞社の派閥闘争史』 鹿児島政財界31号 1961年1月	『錦絵西南戦争』 小西四郎 芸術生活319号 1966年11月	『鹿児島新聞創刊日誤伝の謎』 芳即正 鹿児島史学18号 1972年3月
『南日本新聞百年志』 南日本新聞社 1981年5月	『鹿児島新聞の初代社長・野村政明』 徳留盛行 南日本新聞社 2001年7月	『鹿児島における自由民権運動の動向』 出原政雄 南日本新聞社 2001年12月	『南日本新聞の百二十年』 南日本新聞社 2001年6月
『鹿児島実業新聞が報じた血判の従軍記者』 大武進 南九州文化101号 2004年10月	『「はがき号外」が報じた筆禍事件』 大武進 南九州文化102号 2005年1月	『史料が読み解く鹿児島の新聞創業史(上)』 大武進 南九州文化103号 2005年6月	『史料が読み解く鹿児島の新聞創業史(中)』 大武進 南九州文化104号 2005年11月
『史料が読み解く鹿児島の新聞創業史(下)』 大武進 南九州文化105号 2006年5月	『初代主筆・元吉秀三郎の足跡』 大武進 鹿児島民俗129号 2006年5月	『初代主筆・元吉秀三郎の足跡 再論(一)』 大武進 鹿児島民俗136号 2000年6月	『大武コレクション「新聞史料目録」』 大武進 稿本・私家版 2007年8月
『大武コレクション所蔵「日露戦争号外年表」』 大武進 稿本・私家版 2007年8月	『西南戦争と評論新聞(一)』 大武進 南九州文化106号 2007年11月	『文弁堂吉田書店の引札(一)』 大武進 南九州文化110号 2009年11月	『文弁堂吉田書店の引札(二)』 大武進 南九州文化111号 2010年5月
『文弁堂吉田書店の引札(三)』 大武進 南九州文化112号 2010年1月	『明治の雑誌ジャーナリズム(上)』 大武進 鹿児島民俗131号 2007年5月	『明治の雑誌ジャーナリズム(中)』 大武進 鹿児島民俗132号 2007年10月	『明治の雑誌ジャーナリズム(下)』 大武進 鹿児島民俗133号 2008年4月

おわりに

人々がどのようにして情報を求めてきたか。鹿児島ではどのように、新聞メディアが発達してきたか。ご参考に供するため、大武進氏（大武文庫）が長年にわたって収集してきた新聞資料を展示させていただきました。

大武氏は、昭和40年代から、鹿児島県内の古文書、古記録の収集、保存に取り組みされてきました。今回の展示では、大武氏の展示アイデアをもとに、その貴重かつ膨大な資料の中から新聞資料、文書、絵図等を厳選していただき、ご出品を賜りました。

平成の鹿児島に生きるわれわれも、国内政治、国際情勢と無縁ではられません。マスメディアの誕生から、今日にいたる道筋をたどることは、現代を理解する一つの方法といえないでしょうか。皆様方にとって、この展示会と図録が、歴史を振り返る、あるいはまた、将来を見つめ直す、きっかけになれば幸いです。

指宿まるごと博物館構想
推進実行委員会

奥付

【編集・発行】
時遊館 COCCO はしむれ
〒891-0403 鹿児島県指宿市十二町2290
TEL.0993-23-5100
FAX.0993-23-5000

【印刷】
渕上印刷株式会社
〒891-0122
鹿児島県鹿児島市南栄3-1-6
TEL.099-268-1002
FAX.099-266-3423

展示デザイン・造作

ART HANDS
株式会社アートハンズ
〒890-0043
鹿児島市鷹師2丁目5番1号
TEL.099-214-2525
FAX.099-214-2522

後援

南日本新聞社
〒890-8600
鹿児島市与次郎1丁目99-3

KTS鹿児島テレビ
〒890-8666
鹿児島市紫原6-15-8

読売新聞西部本社
〒810-8581
福岡市中央区赤坂1-16-5

明治	5年	1872	太陽暦採用
	7年	1874	佐賀の乱
	10年	1877	西南戦争
	15年	1882	鹿児島新聞(南日本新聞の前身)
	16年	1883	甕城新聞, 鹿児島日報
	22年	1889	鹿児島同志会, 鹿児島新聞を買収
	23年	1890	尊皇仏国教絵入新聞
	24年	1891	鹿児島毎日新聞(明治30年, 鹿児島新聞に吸収合併), 錦江新聞
	25年	1892	薩陽新聞
	27年	1894	日清戦争(翌28年終結)
	33年	1900	鹿児島実業新聞(大正2年, 鹿児島朝日新聞と改称)
	37年	1904	日露戦争勃発(翌38年終結)
	39年	1906	三州家庭新聞
	42年	1912	九州日日新聞が支社, 大島新報
	43年	1910	南島時報
44年	1911	衛生新報, 痛快新聞, 大島時事	
大正	2年	1913	鹿児島日日新聞(鹿児島毎日新聞が改題), 鹿児島朝日新聞(鹿児島実業新聞が改題)
	3年	1914	オーストリア, セルビアに宣戦布告。第一次世界大戦勃発。 桜島大噴火。大隅半島と陸続きになる。
	5年	1916	鹿児島新聞, 宮崎で宮崎新聞を発行
	6年	1917	夕刊鹿児島商報(鹿児島新聞が鹿児島日日新聞を買収)
	7年	1918	第一次世界大戦終結
	12年	1923	関東大震災
昭和	5年	1930	宮崎時事新聞が支局開設
	6年	1931	鹿児島毎日新聞
	7年	1932	満洲国成立
		1932	五・一五事件
	11年	1936	二・二六事件
	12年	1937	日中戦争勃発
	14年	1939	ドイツがポーランドに侵攻, 第2次世界大戦が始まる。
	15年	1940	一県一紙政策で, 宮崎の日刊9紙が統合「日向日日新聞」
	16年	1941	日本軍による真珠湾攻撃。
	17年	1942	鹿児島日報(鹿児島新聞と鹿児島朝日新聞が合併, 改題)
	19年	1944	鹿児島日報大島版
			アメリカのB29による爆撃が激化
	20年	1945	ポツダム宣言受
	21年	1946	南日本新聞(鹿児島日報が改題), 南海日日新聞(南日本新聞大島版が改題)
	23年	1948	こども南日本
	24年	1949	夕刊鹿児島新聞
	34年	1959	鹿児島毎日新聞(のち鹿児島新報と改題)
38年	1963	ケネディ大統領暗殺	
44年	1969	アポロ月面着陸	
45年	1970	大阪万博開催	
47年	1972	日中国交樹立	

鹿児島新聞ジャーナリズム年表